

名称	第 40 回無担保社債
発行日	2018 年 5 月 24 日
条件決定日	2018 年 5 月 18 日
発行年限	5 年
発行額	100 億円
クーポン	年 0.290%
資金用途	<p>当社が策定した環境対応船の技術ロードマップで予定する投資</p> <p>(新規および一部リファイナンス)</p> <p>(1) 液化天然ガス (LNG) 燃料船</p> <p>(2) LNG 燃料供給船</p> <p>(3) バラスト水処理装置</p> <p>(4) SO_x (硫黄酸化物) スクラバー</p>
社債格付	A (株式会社 日本格付研究所)

レポート

第三者機関による評価

・ [Vigeo Eiris 発行後レビュー \(2021年3月発行\)](#)

資金充当レポート

2020年10月に全額充当完了しました。

- ・ LNG 関連 (LNG 燃料船、LNG 燃料供給船) の一部に 86 億円充当
- ・ 規制対応関連 (スクラバー、バラスト水処理装置) の一部に 14 億円充当

※上記に占めるリファイナンスの割合：24%

インパクトレポート

	2018年度	2019年度
(1) LNG 燃料船	1 隻	2 隻
GHG 排出量	35,730 mt / 隻 / 年	
GHG 削減率	21%	
CO2 削減率	30%	
NOx 削減率	30%	
SOx 削減率	99%	
(2) LNG 燃料供給船	1 隻	1 隻
GHG 排出量	3,647 mt / 隻 / 年	
GHG 削減率	15%	
CO2 削減率	30%	
NOx 削減率	76%	
SOx 削減率	99%	
(3) バラスト水処理装置	1 隻	2 隻
処理量	348,000 mt / 隻 / 年	
(4) SOx スクラバー	—	9 隻
SOx 削減率	86% / 隻	

※インパクトレポートの対象期間は、当年4月1日から翌3月31日の1年間

※船舶数は、本社債発行から当該報告年度までの期間に資金を充当した累積の隻数（但し竣工前の船舶は含まない）

※環境改善効果は、第三者機関 Vigeo Eiris と合意した年次影響推計モデルを用いた理論値

※GHG 排出量、削減率は、メタンガスの排出を加味した数値

※LNG 燃料船は、Vigeo Eiris が定める「論争の対象となっている活動」に関する製品を輸送していない

その他

当社は Climate Bonds Initiative^{※3} が今後設置するワーキンググループに参加し、外航海運業者が発行するグリーンボンドの評価基準策定に協力しています。

※3Climate Bonds Initiative

債券市場を通じて、気候変動問題の解決を目的とする国際 NGO 機関。グリーンボンドに関する情報発信と Climate Bonds Standard などのグリーンボンド評価基準の策定や、政府、金融機関および事業会社に対する政策提言などを行う。

- [ジャパン・グリーンボンド・アワードで環境大臣賞受賞](#)
- [2018年サステナブルファイナンス大賞の「グリーンボンド賞」を受賞](#)
- [英 Environmental Finance 誌の「ボンドアワード 2019」を受賞](#)